

本部半島 なるほどマップ



(美ら海水族館)

7 海洋博記念公園

昭和50年に開催された沖縄国際海洋博覧会を記念して、昭和51年8月に、博覧会跡地に設置された歴史的、文化的資源を生かした公園です。かつての港川地域と備瀬地域を結ぶ一般道を造成し、17世紀頃の沖縄の村落を再現したおきなわ郷土村や海洋民俗の歴史と文化を紹介する海洋文化館、沖縄の海を再現した美ら海水族館などがあります。



瀬底大橋

瀬底

8 浜元ロードパーク

国道449号の本部大橋を海洋博記念公園向けに渡ると右手側に浜元ロードパークがあります。この公園からは東シナ海を一望でき、伊江島や瀬底島を望むことができます。



9 本部大橋

本部町・渡久地の港口に架かる橋で、海洋博覧会が開催された1975(昭和50)年完成しました。橋の長さは352mの長い橋です。



1 今帰仁城跡(世界文化遺産)

今帰仁城跡は三山分立時代の北山王の居所で、北山グスクともいい、1416年まで隆盛を極めていました。正門から大庭(ウフナー)を結ぶ石敷きの曲がりくねった旧道は、外敵からの侵入を防ぐために細かく急な階段が築かれていました。現在桜の名所になっています。



緑のトンネル

今帰仁村

▲乙羽岳 (275m)

▲八重岳 (454m)



10 渡久地港

本部大橋からその全景が見渡せる港で、かつては、本島北部の各地域ならびに離島と那覇を結ぶ航路の中継地点として農水産物、生活必需品の移出入で賑わっていました。現在は、1975(昭和50)年の本部港新設に伴い、水納島定期連絡船・漁船・巡視船が利用しています。



5 乙羽トンネル

名護市から今帰仁村仲宗根へのびる県道72号線、その途中に二つのトンネルがあります。乙羽トンネルは1989(平成元)年に開通した6番目に長いトンネル(361m)です。呉我山トンネルは1988(昭和63)年に開通し、現在沖縄県で8番目に長いトンネル(306m)です。



6 呉我山トンネル

5 仲原馬場(県指定史跡)

民俗行事や畜産奨励のための競馬などに利用されていた場所です。馬場の両側には、約1mの高さに土を盛り上げた観覧席があり、樹齢300年といわれる琉球松の並木が残されています。この松並木は、18世紀の大政治家、蔡温がすすめた植林事業の名残りと伝えられ、国道505号からもその見事な松並木を鑑賞できます。



古宇利

古宇利大橋



うんてん

3 運天トンネル

運天トンネルは運天港への入り口として、1924(大正13)年に完成したトンネルです。トンネルができるまで、人々は急な坂道を通って往来していました。運天港の近くには王府時代から1916(大正5)年まで今帰仁間切の番所があり、行政の拠点となっていました。



4 運天港

県道72号線と一般道の境目付近にあり、北部離島を結ぶ港です。1156年に漂流した源為朝が、運を天にまかせて漂着した所でもあり、運天港という名称が付いたといわれています。また、1609年には薩摩軍約3000人がこの地上陸し首里城を制覇しました。第二次世界大戦では軍港として利用されるなど、歴史上重要な役割を果たしています。